

連結決算セグメント情報等

●セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行及び連結子会社4社で構成されており、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

従いまして、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」及び「クレジットカード業」の3つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っております。

「リース業」は、連結子会社のオーシャンリース株式会社において、リース業務等を行っております。

「クレジットカード業」は、連結子会社の株式会社高知カードにおいて、クレジットカード業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 (単位：百万円)

	2022年度中間期						2023年度中間期						
	報告セグメント				調整額	中間連結財務諸表計上額	報告セグメント				調整額	中間連結財務諸表計上額	
	銀行業	リース業	クレジットカード業	計			銀行業	リース業	クレジットカード業	計			
経常収益													
外部顧客に対する経常収益	8,256	2,883	162	11,301	-	11,301	8,763	2,494	179	11,438	-	11,438	
セグメント間の内部経常収益	16	37	0	55	△ 55	-	19	36	0	56	△ 56	-	
計	8,273	2,920	162	11,357	△ 55	11,301	8,783	2,531	180	11,495	△ 56	11,438	
セグメント利益又は損失(△)	1,315	93	△ 7	1,401	△ 1	1,399	922	86	△ 25	983	△ 3	980	
セグメント資産	1,184,974	11,533	2,812	1,199,320	△ 3,804	1,195,516	1,116,534	11,675	3,671	1,131,881	△ 4,259	1,127,622	
セグメント負債	1,119,627	7,202	1,721	1,128,551	△ 3,485	1,125,066	1,063,254	7,291	2,543	1,073,089	△ 3,951	1,069,138	
その他の項目													
減価償却費	356	24	2	382	8	390	325	35	0	362	8	370	
資金運用収益	6,791	14	11	6,817	△ 12	6,805	6,632	14	12	6,659	△ 14	6,644	
資金調達費用	102	20	0	122	△ 11	111	88	22	0	110	△ 13	97	
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特別損失	7	-	-	7	-	7	38	-	0	38	-	38	
(減損損失)	-	-	-	-	-	-	21	-	-	21	-	21	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	271	0	-	272	9	281	1,094	5	18	1,117	△ 4	1,113	

[2022年度中間期]

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去等によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額△3,804百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(3) セグメント負債の調整額△3,485百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(4) 減価償却費の調整額8百万円は、グループ内のリース取引に伴い発生した減価償却費であります。

(5) 資金運用収益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(6) 資金調達費用の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(7) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9百万円は、グループ内のリース取引における有形固定資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

[2023年度中間期]

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去等によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額△4,259百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(3) セグメント負債の調整額△3,951百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(4) 減価償却費の調整額9百万円は、グループ内のリース取引に伴い発生した減価償却費であります。

(5) 資金運用収益の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(6) 資金調達費用の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(7) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△4百万円は、グループ内のリース取引における有形固定資産の減少額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

● 関連情報

1. 前中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(1) サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	4,769	2,151	2,855	1,525	11,301

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

(2) 地域ごとの情報

① 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

2. 当中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(1) サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	4,765	2,653	2,468	1,551	11,438

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

(2) 地域ごとの情報

① 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

● 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

1. 前中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業	リース業	クレジットカード業	計		
減 損 損 失	-	-	-	-	-	-

2. 当中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業	リース業	クレジットカード業	計		
減 損 損 失	21	-	-	21	-	21

● 報告セグメントごとの負ののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

1. 前中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	クレジットカード業		
当中間期償却額	-	8	-	-	8
当中間期末残高	-	42	-	-	42

2. 当中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	クレジットカード業		
当中間期償却額	-	8	-	-	8
当中間期末残高	-	25	-	-	25

● 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

業務粗利益（連結）

（単位：百万円）

	2022年度中間期			2023年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	6,164	529	6,693	6,082	463	6,546
うち資金運用収益	6,254	559	6,805	6,167	483	6,644
うち資金調達費用	90	29	111	84	19	97
役務取引等収支	299	4	304	491	4	495
うち役務取引等収益	1,049	8	1,057	1,242	7	1,250
うち役務取引等費用	749	4	753	751	3	754
その他業務収支	203	△169	33	△131	△291	△422
うちその他業務収益	2,962	-	2,962	2,475	43	2,518
うちその他業務費用	2,759	169	2,928	2,606	334	2,940

- (注) 1. 国内業務部門は当行及び連結子会社の円建取引、国際業務部門は当行及び連結子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は国際業務部門に含めております。
 2. 連結会社間の取引に係る収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。
 3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息であります。
 4. 資金調達費用は、金銭の信託運用見合費用（2022年度中間期0百万円、2023年度中間期0百万円）を控除して表示しております。

役務取引の状況（連結）

（単位：百万円）

	2022年度中間期			2023年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役務取引等収益	1,049	8	1,057	1,242	7	1,250
うち預金・貸出業務	232	-	232	288	-	288
うち為替業務	247	8	256	252	7	259
うち証券関連業務	198	-	198	240	-	240
うち代理業務	13	-	13	13	-	13
うち保護預り・貸金庫業務	6	-	6	5	-	5
うち保証業務	12	0	13	15	0	15
役務取引等費用	749	4	753	751	3	754
うち為替業務	20	4	24	20	3	24

- (注) 1. 国内業務部門は当行及び連結子会社の円建取引、国際業務部門は当行及び連結子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は、国際業務部門に含めております。
 2. 連結会社間の取引に係る収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。

資金運用・調達勘定平均残高等（連結）

（単位：百万円、％）

●国内業務部門

	2022年度中間期			2023年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	(57,641) 1,160,892	(8) 6,254	1.07	(47,857) 1,110,323	(7) 6,167	1.10
うち貸出金	723,086	4,707	1.29	722,240	4,670	1.28
うち商品有価証券	-	-	-	-	-	-
うち有価証券	249,975	1,420	1.13	252,094	1,412	1.11
うちコールローン及び買入手形	1,699	0	0.02	-	-	-
うち預け金	128,489	117	0.18	88,130	77	0.17
資金調達勘定	1,125,129	90	0.01	1,067,662	84	0.01
うち預金	1,013,802	79	0.01	1,010,487	74	0.01
うち譲渡性預金	10,226	1	0.02	17,570	1	0.01
うちコールマネー及び売渡手形	-	-	-	-	-	-
うち債券貸借取引受入担保金	-	-	-	-	-	-
うち借入金	102,122	9	0.01	40,649	9	0.04

- (注) 1. 「国内業務部門」とは、当行及び連結子会社の円建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は、国内業務部門から除いております。
 2. 平均残高は、原則として日々の残高の平均に基づいて算出しておりますが、当行以外の子会社については、主として月末ごとの残高に基づく平均残高を利用しております。
 3. ()内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。
 4. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（2022年9月期135百万円、2023年9月期132百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（2022年9月期1,069百万円、2023年9月期1,069百万円）及び利息（2022年9月期0百万円、2023年9月期0百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
 5. 連結会社間の取引に係る債権・債務及び収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。

●国際業務部門

	2022年度中間期			2023年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	62,624	559	1.78	51,066	483	1.88
うち貸出金	6,985	61	1.76	5,420	94	3.49
うち商品有価証券	-	-	-	-	-	-
うち有価証券	54,616	496	1.81	44,367	383	1.72
うちコールローン及び買入手形	-	-	-	-	-	-
うち預け金	-	-	-	-	-	-
資金調達勘定	(57,641) 62,602	(8) 29	0.09	(47,857) 51,054	(7) 19	0.07
うち預金	3,270	1	0.08	2,913	4	0.31
うち譲渡性預金	-	-	-	-	-	-
うちコールマネー及び売渡手形	1,684	19	2.36	268	7	5.88
うち債券貸借取引受入担保金	-	-	-	-	-	-
うち借入金	-	-	-	-	-	-

- (注) 1. 「国際業務部門」とは、当行及び連結子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は、国際業務部門に含めております。
 2. 国際業務部門の外貨建取引の平均残高は、月次カレント方式（前月末TT仲値を当該月のノンエクスチェンジ取引に適用する方法）により算出しております。
 3. ()内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。
 4. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（2022年9月期6百万円、2023年9月期4百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
 5. 連結会社間の取引に係る債権・債務及び収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。

●合計

	2022年度中間期			2023年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	1,165,875	6,805	1.16	1,113,532	6,644	1.19
うち貸出金	730,071	4,769	1.30	727,660	4,765	1.30
うち商品有価証券	-	-	-	-	-	-
うち有価証券	304,592	1,917	1.25	296,461	1,796	1.20
うちコールローン及び買入手形	1,699	0	0.02	-	-	-
うち預け金	128,489	117	0.18	88,130	77	0.17
資金調達勘定	1,130,090	111	0.01	1,070,858	97	0.01
うち預金	1,017,072	80	0.01	1,013,401	78	0.01
うち譲渡性預金	10,226	1	0.02	17,570	1	0.01
うちコールマネー及び売渡手形	1,684	19	2.36	268	7	5.88
うち債券貸借取引受入担保金	-	-	-	-	-	-
うち借入金	102,122	9	0.01	40,649	9	0.04

- (注) 1. 国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息は相殺して記載しております。
 2. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（2022年9月期141百万円、2023年9月期137百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（2022年9月期1,069百万円、2023年9月期1,069百万円）及び利息（2022年9月期0百万円、2023年9月期0百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
 3. 連結会社間の取引に係る債権・債務及び収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。